



早春の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今月の診療科別予定表を同封いたしますのでご参照ください。
今後とも、患者さまのご紹介をよろしくお願いいたします。



1. リハビリテーション科よりご挨拶



名誉院長 / リハビリテーション科

みしま ひでお

三島 秀雄

平素より先生方には大変お世話になり有難うございます。

当院の回復期リハビリテーション病棟は42床を有し、3人の医師（藤本和己・専従医長、福永裕充・専任顧問、三島・専任）と看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、MSWなどでチームを組んで集中的にリハビリを行い、ADLの向上による寝たきりの防止と自宅復帰・社会復帰を目的としています。そのために回復期リハビリテーション病棟では疾患も限定され、脳血管疾患や脊髄損傷、大腿骨、骨盤、股関節などの骨折等の整形外科領域、外科手術または肺炎等の治療時の安静による廃用症候群などが対象です。また、対象疾患ごとに入院期間が定められています。治療・手術を受けた急性期病院から回復期リハビリテーション病棟への診療情報提供書を基に週2回の入棟判定会議を行い、入院の可否を決定しています。当科では特に脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）や脊髄損傷などを重点的に受け入れていますので、回復期リハビリテーションの症例がありましたら、ぜひ御紹介をお願い致します。

私たちはリハビリテーション病棟の専従、専任医師ですので、諸先生方と直接顔を合わす機会も少なくなっていますが、今後も引き続きご協力をよろしくお願い致します。



2. 回復期リハビリテーション病棟のご案内

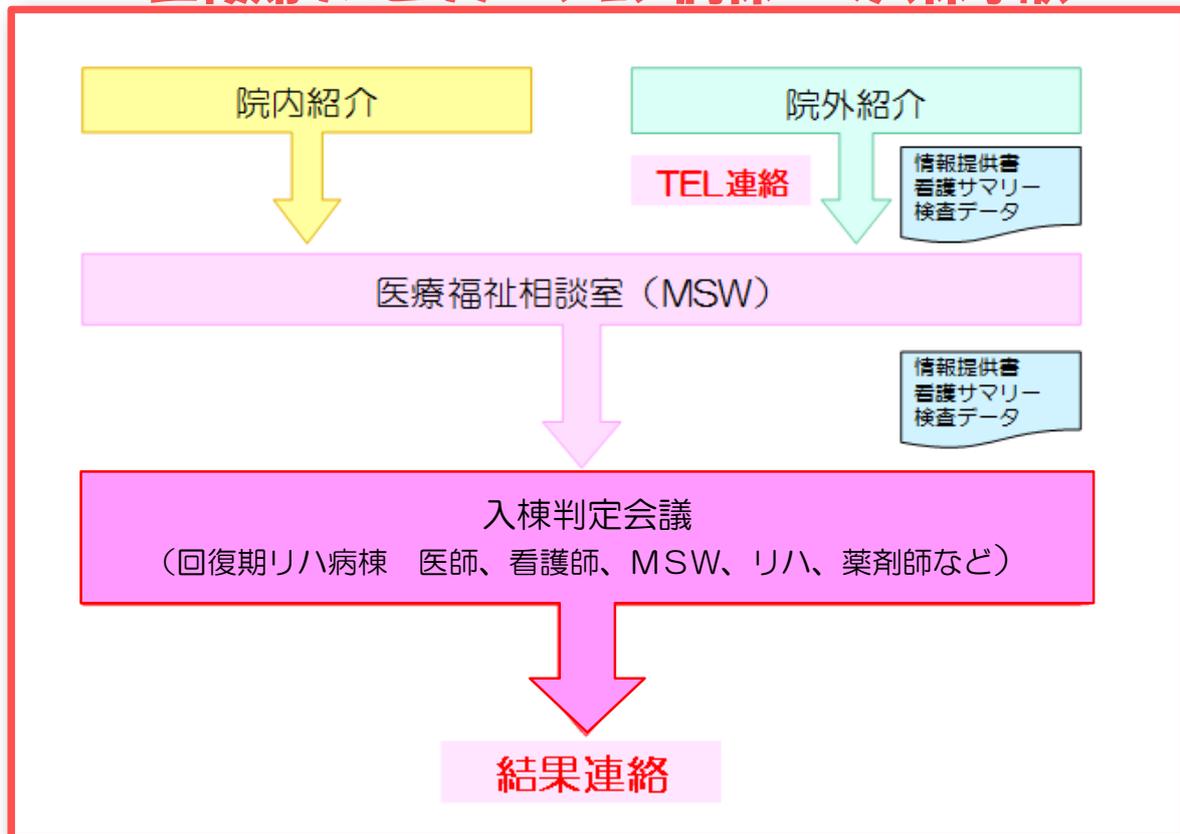
当院では、回復期リハビリテーション病棟への転院時の窓口を医療福祉相談室が行っています。当院への転院希望がありましたら、診療情報提供書、検査データ、看護サマリーをご準備いただき、医療福祉相談室へご連絡ください。また、その際に患者さまの病状やリハビリ時の状況、患者さま・家族さまへ今後の意向などをお伺いさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

入院後は、多職種（医師、看護師、セラピスト、MSW、管理栄養士など）で退院支援を行っています。また、地域の関係機関とも連携し、患者さまが安心して退院できるようにサポートを行っています。

今後ともご紹介のほど宜しくお願いいたします。



☆ 回復期リハビリテーション病棟への入棟手順 ☆



基本は急性期病院からの転院をお受けいたしますが、
その他医療機関さまでお困りの際は「医療福祉相談室」までご連絡ください！



医療福祉相談室 リーダー やまもと ゆみこ
山本 有弥子



社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室
(直通) TEL 072-471-3020 FAX 072-471-3977

受付時間 午前8:45～午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります

